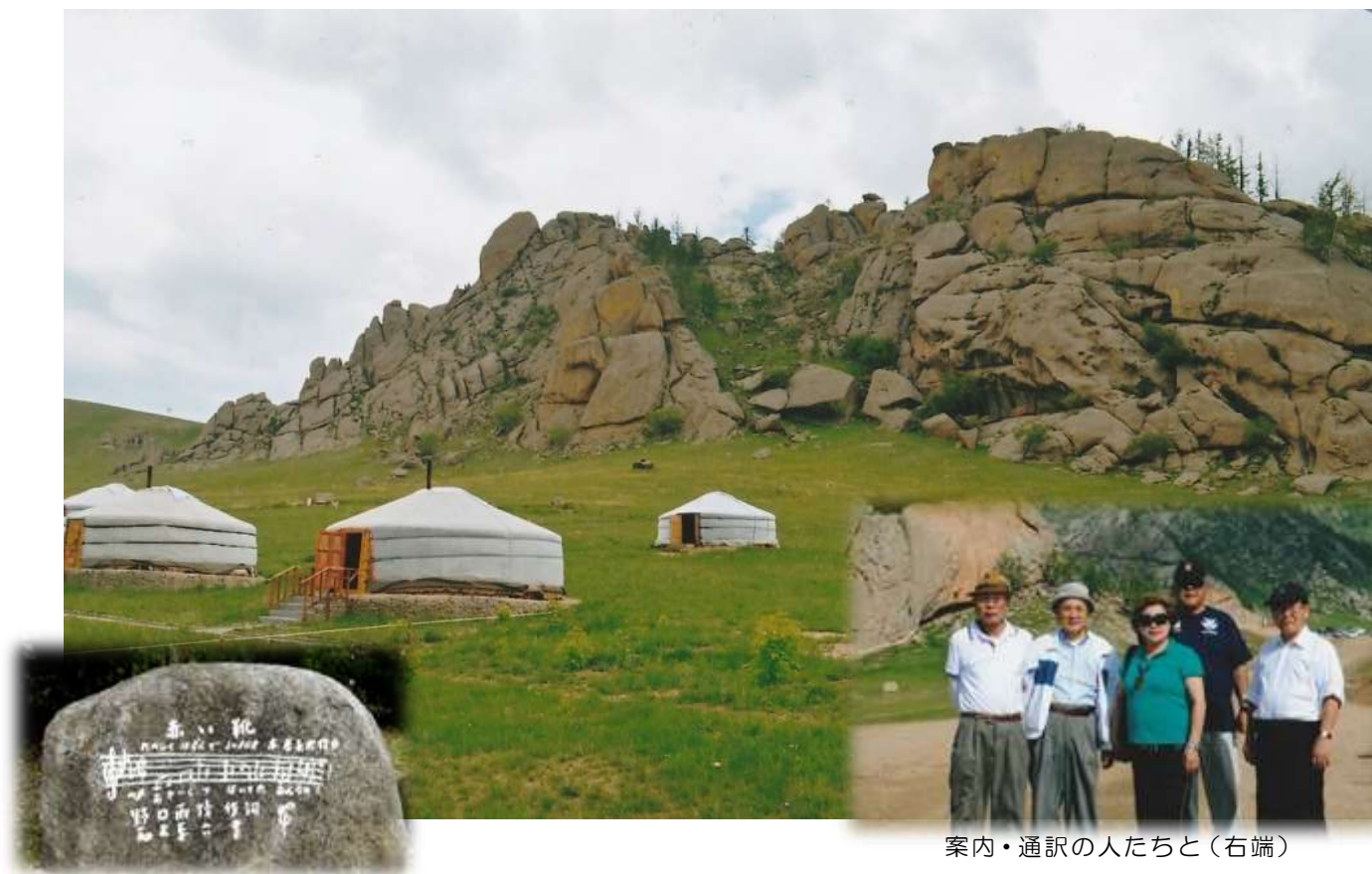


2015年1月25日

# OB会 だより



案内・通訳の人たちと（右端）

定年後の人生・・・

新しい道に挑戦し、輝いている仲間がたくさんいる。

その一人 武内 優さん

野口雨情に魅せられての研究・モンゴル訪問・出版に挑戦だ。

趣味のビデオ映画作りは、わが子の成長記録から始まり、童謡を手がけたことから自然に野口雨情の作品が多くなり、今は雨情の世界にどっぷり浸かっている。詩や童謡・民謡・歌謡曲の作詞など 2000 余編を残した雨情は、「郷愁と童心の詩人」。失われつつある日本の懐かしい風景や、叙情あふれる言葉が、われわれを癒してくれる。1926 年 馬を借り、通訳や案内人を雇ってモンゴルを訪問した雨情に関しては、ご子息や雨情研究家の間でも全く未知の世界だ。今回の私のモンゴル訪問も関係者から期待と激励をいただき、私も雨情がめざした道を歩いた。その内容は 5 月出版予定。本のタイトルは 「野口雨情：モンゴル訪問と信仰の世界」

明けましておめでとうございます。



会長 富田孝博

みなさん いかがお過ごしでしょうか。

私は例年とは一味違った明るい気分で 2015 年を迎えました。それは国民に追い詰められた安倍政権が解散、総選挙で延命を図る狙いでしたが、結果は私が支持し応援した政党が 8 議席から 21 議席に躍進し、画期的に勝利したからです。

みなさん！ ご苦労さまでした。私は特に共産党以外の各政党が「だんまり！」「言えない！」と国民の血税を受け取っている「政党助成金」を廃止し、その財源を福祉予算優先に充てるべきと考えます。それに対して「議案提案権」を得た日本共産党が嬉しい事に新しく国会にまず提案するそうですので期待しているところです。

年始の休み中に私の知り合いが緊急に埼玉協同病院に入院しました。深夜に先生から病状説明がされるとの連絡があり、車で家族を乗せ急遽出向きました。私達も同席し説明を聞きましたが、何とその担当の先生が肥田瞬太郎先生の孫、泰先生の息子先生でした。とてもわりやすく、ていねいな対応に感銘を受けました。さすが埼玉民医連の医師。民医連のところが継承されているなぁと心強く嬉しく思った次第です。先生の説明に家族も納得し、おかげさまで患者は回復に向かっています。

現役に励まされより良い医療をめざし、できることに参加し、一層自分も誇りに思えるOB会に取り組んでいかなければと思った次第です。

さて、さて、埼玉民医連退職者の会は来る 2 月 22 日（日）に定期総会を開催します。交流も含め楽しい総会になるように多くの方の参加をお待ちしています。



・・・お知らせコーナー・・・

- ◆ 埼玉民医連退職者の会 第 25 回総会  
2 月 22 日（日）医療生協さいたま本部会議室  
10 時～15 時
- ◆ 私の作品展 今年も開催します。出展よろしくネ・・・  
皆さん！ お待ちして いま～す



◆ 大久保 忠一

新年 おめでとうございます

95 回目の新春を迎えることができました。最近では耳が遠くなり、何かと不便をしています。寒い日が続くので、外出も控えています。みなさんの近況や活動の様子を知るのが楽しみで、OB 会だよりの届くのを楽しみに待っています。

今年も私なりにがんばりたいと思います。変わらぬご指導・ご厚誼よろしくお願い申し上げます。

◆ 青柳 伸二

「脱 OB」をめざして奮闘中。



共産党の大宮市議となり、その流れで県連 OB 会に。さいたま市議まで 3 期 14 年務めたが、市議 OB という期間が 8 年。その間、衆議院候補も経験した。

今度は、県議に初挑戦。4 月 12 日投票なのですでに 3 か月を切った。「埼玉新聞」は今春の地方選の連載を始めたが、見沼区県議選（定数 2）の見出しは、『自・民・共の戦い濃厚』。文中では、“昨年 2 月に早くも公認された青柳は県議会では新人ながら、市議などを務めたベテラン”

と書かれた。現役労働者で、元議員（OB）で、挑戦する新人と、「現」「元」「新」の 3 つの顔で見沼区内を走り回っている。現県議となつての脱 OB だが、脱県連 OB 会とはならないので今後もおつきあいよろしく。

◆ 山本康男

正月は行動を共にする仲間 3 人で伊豆旅行へ。毎年のことながら箱根駅伝を観戦。ゴール会場では、トヨタのネックウォーマーや岩手のつきたての餅、湯河原のみかんもいただいていたので応援。仲間の母校（法政大学）が出場していないので気楽に観戦。全校の走りを応援した後は、下田の温泉民宿へ。翌朝、爪木崎から見たご来光は見事だった。気の向くままに西伊豆をまわり箱根仙石原泊り。翌日は、4 時間かけて江の島をまわり、初詣も楽しみ、正月の 3 日間の旅は終わった。



週末には、健康フェスタの終わった足で佐原へ、5 月の連休は佐渡に、夏には恒例の歌舞伎を観る会も計画できそうで、また今年も「レク 1 年」になりそうだ。

◆ 島田喜久江

最近、家にいる時間が増え、顔なじみの方が増えました。びっくりした事に高齢者の独り暮らしの方が多なこと。先日、甘酒を作ったのでお届けしたところ、とても喜んでくださり私もそれに気を良くして煮物やお菓子作りを。「一人では作る気にならないの・・・」「おいしくいただきましたよ」の声に励まされ？ 今度は4人のおばあちゃん達との新年会。皆さんの笑顔がうれしい。私にできることを、私も楽しみながらの日々です。



上野東照宮の冬牡丹

◆ 佐々木 芳子 長野・黒姫から



南アルプス・仙丈ヶ岳の日の出



雪の中のペンション「ヴォルケ」

あけましておめでとうございます。

昨年は火山噴火、長野北部地震と県内で災害が続きました。今年は何もなく穏やかに過ごせればいいなと願っています。

12月から降り出した雪はとける間もなく次から次へ。ヴォルケの庭でも、多いところは2mもの雪が積もっています。今は白銀の世界を楽しんでいます。雪の下から芽を出す踏の臺、こぶし、リュウキンカ、カタクリの花が咲きほこる雪解けの時期が待ち遠しいです。

◆ 浦川恵子 蔵王便り～秋～

収穫の秋。こんなにたくさん梨を食べたのは初めてかも。蔵王の梨は、本当においしい。木の葉からのぞく赤いりんごも可愛らしい。「めんこいねえ！」

10月には、こけしまつりが開かれる。蔵王町では、後継者不足に悩む遠刈田こけしを守ろうと、新人工人を育成している。我が家も玄関先にこけしを飾り、ささやかに応援している。

11月には、朝市で買った渋柿で干し柿作りに初挑戦。子どもの頃、我が家に渋柿の木があり、母が作る“焼酎で渋を抜いた柿”が大好物だった。母の味には及ばないが、蔵王おろしの風とお日様で、おいしい干し柿が完成。

蔵王は、観光と農業の街。噴火への備えもしつつ、蔵王の山々の恩恵を受けていることを実感している。



収穫の秋～りんご～



新人工人の遠刈田こけし



干し柿作りに初挑戦

#### ◆ 小田政満 新年に思ったこと

最近、朝日新聞への一連のバッシング報道をみて感じたこと、個人の知る権利をしばる秘密保護法や海外で戦争できる集団的自衛権、憲法9条をなし崩しにする安倍内閣に手助けする現在の政治状況が許せません。



朝日新聞の一連のお詫びに私は拍手します。それよりも、よってたかって他のマスコミの追い討ちが心配、慰安婦問題はなかった、原発はしっかり安全だと肯定する安倍首相の思う壺で、河野談話を否定する動きが加速されています。戦争は人を殺し、物も破壊する歴史を見ればわかる事です。政治権力を絶えず監視することがより大切だと思っています。

#### 第一世代の会員を囲むつどい

権田圭助さんを  
囲んで  
民医連誕生の灯

西村 米子

突然の衆議院解散による総選挙公示の前日の12月1日 第一世代の会員を囲むつどいが開かれました。第3回目となる今回の先輩は、旧入間医療生協の



権田圭助さんでした。

ふじみ野市の大井協同診療所に近い料亭「美可美」を会場に、地元の会員7名を含む25名の参加でなごやかにおこなわれました。

まず、軍国主義教育で育った権田さんの少年、青年時代のお話から始まりました。熊谷で終戦を迎え、戦後の大混乱を経て労働者として労働運動、そしてレッドパージにあい、「伊藤 明」と名前を変えて大井村へ来て、大井医院と出会い働き始めたのです。大島慶一郎医師がいた健保連大井医院は医院閉鎖の裁判闘争中でした。



村民の絶大な信頼と、農民組合、又レッドパージ被害者達の応援もあり、裁判に勝利して民医連の誕生の火が灯りました。又、権田さんから提供された資料も興味深いものでした。ガリ版刷りの埼玉民医連内報No1、入間医療生協機関紙第4号、大切に保存されている事に感心しました。

今回のお話を聞いて、埼玉民医連の源流を見つけたように感じました。この源流が幾多の困難を乗り越えて、今、大きな流れになっていると思います。

1時間30分の短い時間では語りつくせない長い歴史、又の機会にじっくり聞いてみたいです。

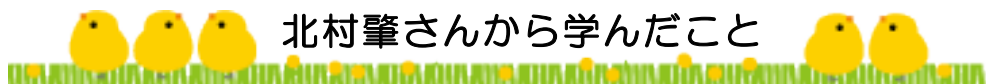


## 第20回埼玉高齢者大会

11月17日（月）川越市市民会館で開かれ、開会冒頭、「沖縄知事選挙で翁長さんが勝利してよかったですね、元気になりましたね」とのあいさつに会場は大きな拍手が続きました。

記念講演は「週刊金曜日」編集長の北村肇さん。新聞・テレビは本当のことを報道しない、集団的自衛権容認で「戦争する国」にする、そのために特定秘密保護法をやるそうならば国民も国会議員も自由にしゃべれなくなる、マスメディアは安倍首相ヨイショ、自衛隊ヨイショになっている、私たちは「真実」を自分で「知り」「考え」周りに「伝え」みんなで「行動」することが大切と話されました。OB会からの参加は6人、原島さんは「介護問題分科会」の助言者、また医療生協・新婦人として参加した仲間もいました。





小野 敏

1. 日本国憲法が、改悪されずに、戦争ができる国になりつつあること。

麻生副総理が「ヒトラーのようにやればいい」発言を、以下のように解釈すること。ワイマール憲法は、第1次世界大戦後に成立したドイツ共和国の憲法で



した。史上最も民主的な憲法といわれましたが、ナチスが政権掌握し共産党が国会に放火したとデッチあげ全権委任法を成立させ、事実上消滅させた手法です。今は、憲法を改悪せずに戦争ができる法律が、安倍内閣の下で進行していることです。

2. 戦争は、絶対いけないことを改めて学んだこと。

日本軍人の戦没者230万のうち少なくとも半数は餓死者（不破哲三研究）の話と、講師の姉の死を、母親の死亡の前日に知らされた話を重ね合わせ、兵士以外にも、歴史と記録に残らず死亡した国民が多数存在すること。

3. 公務員に、憲法第99条「憲法尊重擁護の義務」の立場に立たせること。

4. 先日、私は秩父の大滝ダム上空から超小型ヘリコプター（バッテリー駆動）を遠隔操作で、モニター画面を見ながら撮影している1個人に出会いました。

今、テロなどにより、数千の小型無人機で、原子力発電所を集中攻撃され爆発を起こしたら、一瞬にして、日本は亡くなる時代に世界はなっているという話を実感として受け止めました。



龍光寺（富岡市）

～「工女」がねむる墓がヒっそりと～



石原 罔美

このお寺には、工女56（60？）人がねむるお墓がヒっそりと立っている。

「工女」とは、ご案内のように、「富岡製糸工場」で働いていた女子労働者のことである。「富岡」は、「女工」ではなく、「工女」と称されていた。

今、「富岡製紙工場」が世界遺産に指定され「世を」挙げて「大騒ぎ」している。世界遺産指定に水を差す気はないが、日本の原始的資本蓄積過程での「殖産興業」

「富国強兵」策のひとつとしての「富岡」ということを忘れてはならぬ、忘れてはならない。確かに、「官営」時代は、労働時間 7 時間 45 分、食費、寮費、医療費は工場持ち、週休 1 日、夏休み、冬休みが夫々 10 日ずつ。給与は 1 等級 (25 円)、2 等級 (18 円)、3 等級 (12 円)、等外 (9 円) を月割りで支給、作業服代夏冬 5 円を支給。世の憧れの的と言うのもわかろうというものだが。(顧問のフランス人の手前もあったのかも) しかし、これは官営時代だけの話。



後に民営化 (三井等) されると話が変わる。龍光寺のお墓の大部分は民営化時代のものという。しかも、工場には、診療録も死因の記録がない。(中にはつい最近まで、身元がわからなかった工女もいたと「東京」が特集)。病気の多くは「脚気」というのだが。

民営化後、急速に労働環境が悪化、労働時間は 10~12 時間に、休日は、月 2 日に。民営化直後、ストライキが発生している。何の労働者保護法が無い時代に「工女」さんの勇気に脱帽!

「世界遺産」祝賀を煽るメディアはこういう事実をまず報道しない。当時の生活を綴った、「工女」の和田 (横田) 英『富岡日記』(みすず書房) がある。

## 埼玉民医連退職者の会ホームページ

### 私の意見・感想

埼玉民医連退職者の会

検索

前号に続いての意見・感想です。



#### ★ 清水 恵子

そもそも、IT、スマホ、ネット等無縁に生きていて、アナログど真ん中の私が、ホームページの感想など、全くおこがましい限りですが…ちょっとひと言。実はOB会がホームページを開いている事は知りませんでした (スゴイ!)。開くと寄居の小林寺の五百羅漢が眼に飛び込んできます。手作りで、退職者同志をつなぐホームページは、暖かく、心強い存在だと思います。私のように会に入らせて頂き、仕事もしている者もたくさん増えますが、会の活動を知ることができ、うれしいです。できればですが、トップ画面というのですか? 一面は上や横にポケットがついていて、そこをクリックするとワンタッチで開くようになると見やすくなりますね。すみません。



☆ 山形文子 ホームページには笑顔がいっぱい

埼玉民医連退職者の会を検索してホームページを初めてみたのは大分前のことでした。今回、2月の総会の写真を改めて見て雪のため参加できなかったこと、残念だったなーと感じました。仕事をしていた時と違って全員が笑顔です。趣味に活動に健康維持にそれぞれが充実した生活を過ごされているのでしょうか。励まされ私も今を大切に頑張ろうと思えます。

会の運営やホームページの管理に尽力されている方々のおかげです。ありがとうございます。

結成60年を越えた埼玉民医連を支えてきた職員の歴史、個人史などを取り上げたコーナーはいかがでしょうか。



☆ 前田文代

「朝もやの越辺川」 ホームページ 12月より

いつも素敵な写真の埼玉の風物詩から始まる埼玉民医連退職者の会のホームページを見ると、OB会だよりの読むのとは違う感覚を持ちます。

開設した当初は幹事会でも「あ！まだ見ていない」「どうしたら見ることができる？」と……。それが「もっと多くの方に見てもらうには？」「感想が書き込めるようにするにはどうしたら？」など作成している担当者の苦労はさておき、言いたいことが話し合える幹事会もいいなと思っています。

どの写真にも笑顔が広がり、行った気分させてくれる写真ばかりです。一回ホームページを開いたら是非「お気に入り」にすると手間を掛けずにいつでも見ることができるといことも知りました。パソコンで見るのは簡単と会員外の方にも楽しんでもらえたらいいなーと思っています。

## 松本光正先生の

### 血圧の本を読んで！

神作 信男

私は在職中血圧が高めでしたが、健診時には「いつも走っているのだから」と先生方に話していました。退職後、足立区の国保健診を受診したところ血圧を執拗にせまられたので、1ヶ月データをとりました。走った後は血圧が下がるのもわかりました。そのデータ（約400で120～170のもの）をもって受診したところ、WHOの基準の話などをされ「治療の対象」となり投薬・治療を開始しました。そして約2年、OB会だよりで松本先生の「高血圧はほっとくのが一番」の本のことを知りました。この名前の本は記憶にありましたが、ひどいタイトルだと思っていました。松本先生の本と知って買って来て一気に読みました。

目からうろこでした。WHOの新基準（160→140）の発表の数時間前に「WHOの同意なしにスポンサーの製薬会社がきめたもの」とのプレスシートが記者に配られたとのこと、「基準値を10下げれば新たに（国内で）1000万人の患者がうまれる」という製薬会社の思惑とノバルティスファーマ社のデーターねつ造事件と高血圧学会の人的癒着など、患者が増やされていく構造がわかってきました。



私は、この本を読んだ翌朝から薬をやめました。2年お世話になった医師の中断患者になってはいけなと受診して話したところ「薬を飲んだ方がベター」とは言いましたがベストとは言いませんでした。毎日測っていた血圧は週1回にして2日前には134～159がでました。この原稿を書きながら2年前のデーターを見直した所120～170ではないですか。あらためて見ると正常ですね。薬をやめてもますますです。これでいきたいとおもいます。松本先生とは、高橋旦さんと「埼玉明るく走る会」をつくって（1980年）会長に松本先生になってもらった時以来のおつきあいです。OB会で息長くこれからもよろしくお願ひします。



## 高倉健、菅原文太を偲ぶ

仲村 敬子

はるか はるか彼方にゃオホーツク  
紅いまっかなハマナスが  
海を見てます 泣いてます  
その名も 網走番外地



北浦和の元町3-5-1に、1階は浦和民主診、2階は県連事務局があった頃、私は高倉健の大ファンで毎週のように映画館に通っていました。休日には乏しい預金をおろしてリュックを背負い、シナリオや資料を探してお茶の水から神田を歩き回りました。ビデオなどなかった時代で活字と写真で知るしかなかったのです。保育園の園服のままの娘の手をひいて、新宿や銀座の名画館にも通いました。新宿のお客は「健さん！たたっ斬れ！」などと声援をおくり劇場じゅうが異様な興奮に包まれていました。銀座のお客は森閑として画面に見入り、監督に加藤泰の名前が出たり、はるか遠く豆つぶのような

人影が現われそれが健さんともわからぬうちから熱い静かなざわめきのようなものが満ちてきて、私はその両方が好きでした。

藤純子の緋牡丹お竜が旅立つ男（菅原文太）に温かい弁当を手渡し、袂から取り出したみかんがすべり落ちて雪のなかを転がる有名な「雪の今戸橋」のシーン、雨の中を無言で歩いていく健さんと藤純子の番傘にからまる柳の枝のあざやかな緑、爛熟期の東映やくざ映画は数々の美しいシーンを残してくれました。

その後、健さんは山田洋次の「幸福の黄色いハンカチ」（77年）で第1回日本アカデミー賞最優秀主演男優賞を受賞し、俳優人生が大きく変わっていきます。文太も深作欣二の「仁義なき戦い」（73年）が大ヒットし、やくざ映画の路線が変わっていきます。

昨年11月9日、秩父事件130周年の記念集会に、小川さん、巻田さん、私の3人は小鹿野町のやまなみ会館で菅原文太の講演を聞きました。とても静かで愛嬌のあるおじいさんになっていました。

「政治」の役割は二つ。一つは国民を飢えさせないこと、安全な食べ物を食べさせること。もう一つは、これが最も大事です。絶対に戦争をしないこと。自らの経験から語ってくれました。原発も基地も「ノー」の意志を明確にしていました。

14年11月に2人はつついて亡くなりましたが、俳優という仕事の偉大さ、その人生は多くのことを私たちに語りかけ学ばせてくれたと思っています。

いのち・平和・憲法9条 オール埼玉総行動  
2.3 埼玉大集会 OB会も仲間入りしました みんなで参加を!!



### うらしん OB会

11月19日 参加者10名 お弁当持参で小春日和のなか、昭和記念公園に行ってきました。紅葉、银杏黄葉を見に大勢の人、ギンナンを拾う人、写生をしているグループなど。

葉の陰になったギンナンを踏みながら、電車で帰る時あの匂いが迷惑だうねと思いつつ踏んでしまった。西立川駅から立川駅に抜けました。

ひっきりなしに飛ぶ自衛隊のヘリコプター、立川駐屯地が隣にあるので「うるさいねえー」と言いつつ、雲一つない大空の下、楽しんできました。

小嶋 美智子





「横浜・万国橋からの夜景」 金子 仁志



2015年 伊豆の海①



伊豆の海② 山本 康男



お正月の花 oxΔ流 栗原 和子



庭に咲いた皇帝ダリア 小川 祥江

### あとがき

新年に入り「OB会だより 121号」づくりに着手。

今号も皆さんからいただいた貴重な原稿が次々。それにしても多岐にわたる内容にはビックリ!! 喜んだり、笑ったり、ニヤニヤしながらの入力は楽しい、作業者の特権かな? どうぞ、あたたかいお部屋でゆっくりご覧ください。最後にこれが最も大事(菅原文太ばりに...) 読んだ後の感想・意見をお願い!! (よ)